

地域づくりの基本方向（案）について

この章は、第1部第2章の『いばらきの目指す姿』や第2部第1章の『政策展開の基本方向』を踏まえ、それぞれの地域特性に応じて、各地域において重点的に取り組むべき地域づくりの基本方向を示すとともに、行政のみならず、県民、企業、団体、NPOなどの各主体が連携しながら地域づくりを進める指針としての役割を果たすことを目的として定めるものです。

1 地域づくりの基本的な考え方

人口減少社会の到来や急速な高齢化の進展、地域コミュニティの弱体化、グローバル化の進展などにより、社会経済情勢は大きく変化しています。

また、地方分権の機運が高まり、多様な主体が連携して、自己決定・自己責任のもとに地域の個性を活かした地域づくりを行っていくことが求められています。

こうしたことを踏まえ、県内各地域の特色ある地域資源を最大限に活用するとともに、産業の育成や雇用の場の確保などの活力ある地域づくりに取り組みながら、医療や環境、教育などが充実し、誰もが安心・安全で快適に暮らせる「生活大県」を実感できる地域づくりを進めていきます。

さらに、各地域の特性や特色ある取組などいばらきの魅力を県内外に積極的に情報発信することにより、本県のイメージアップを図っていきます。

2 地域づくりを推進していくための3つの視点

① 多様な主体の参加と連携による地域づくり

県民や企業、NPO、行政など地域づくりに携わる多様な主体の参加と連携による地域づくりを推進します。また、各主体が活動をしっかり展開できる環境を整えることが重要であることから、人材の育成や情報の提供などを推進します。

② 広域的な視点に立った地域づくり

広域交通ネットワークの整備を活かし、県内の全てのゾーンが連携することはもとより、国内外との連携・交流も視野に入れた、広域的な視点に立った地域づくりを推進します。

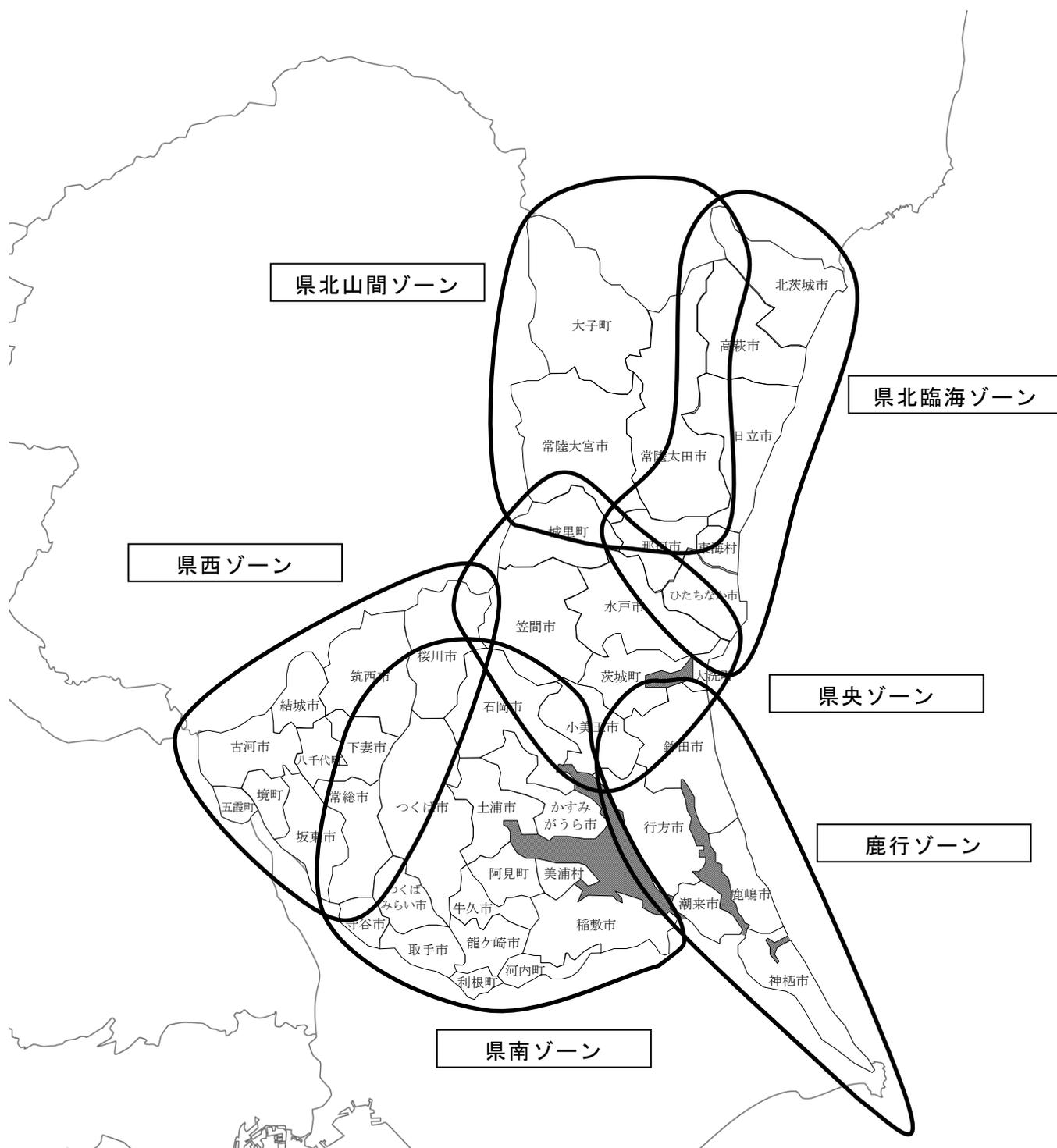
③ 地域のもつ特性や資源を活かした地域づくり

地域づくりに携わる各主体が連携して、自然や歴史、文化などの地域の持つ特性や資源を、新たなアイデアや創意工夫により最大限に活用し、個性豊かで魅力的な地域づくりを推進します。

3 地域区分

社会経済の結びつきや地理的、歴史的条件などを踏まえ、地域固有の特性や課題を共有し、一体的な地域づくりを効果的に推進することが望ましい地域として、県土を「県北山間」、「県北臨海」、「県央」、「鹿行」、「県南」、「県西」の6つの地域に区分しています。

また、経済活動や県民生活の範囲が広域化し、多様な主体が市町村の区域にとらわれない活動を進めていることから、地域区分の境界を市町村界で区分せず、弾力的に捉えたゾーンとすることとしています。



4 地域づくりの方向

(1) 県北山間ゾーン

■活力ある地域づくりのための農林業等の振興や企業誘致の促進

- ・地域特性を活かした農林業や観光産業，地場産業の振興
- ・農林業等の担い手確保など人材の育成
- ・企業立地の促進による働く場の確保

■過疎地等における安心快適な生活圏の形成

- ・保健・医療・福祉の充実
- ・道路や下水道など生活環境基盤の充実

■豊かな自然環境を活かした観光交流空間の形成

- ・豊かな自然環境を活かしたライフスタイル「いばらきさとやま生活」の発信による移住や交流・二地域居住の推進，地域の認知度の向上
- ・清流や里山，温泉，食，ジオポイントなど多様な地域資源を活かしたグリーン・ツーリズムや体験型教育旅行の推進，周遊型観光ネットワークの形成
- ・F I T構想に基づく県際地域における広域的な交流圏づくりの推進

(2) 県北臨海ゾーン

■活力ある臨海都市圏の形成

- ・高速道路，港湾等の広域交通ネットワークを活かした日立・ひたちなか・那珂地区などへの産業集積や，J-PARC等の活用の促進
- ・集積するものづくり企業の研究開発の促進等，企業立地や地域産業の高度化の推進
- ・地域特性を活かした農林水産業の振興
- ・後継者やものづくり技術者の育成など産業を担う人づくり

■安心快適な生活圏の形成

- ・へき地医療の充実など地域医療体制の整備
- ・道路など生活環境基盤の充実

■魅力ある観光交流空間の形成

- ・豊かな自然環境を活かしたライフスタイル「いばらきさとやま生活」の発信による移住や交流・二地域居住の推進，地域の認知度の向上
- ・海や変化に富んだ海岸線，食，ジオポイントなどの地域資源を活かしたブルー・ツーリズムや体験型教育旅行の推進，周遊型観光ネットワークの形成
- ・F I T構想に基づく県際地域における広域的な交流圏づくりの推進

(3) 県央ゾーン

■ 県都水戸を中心とした安心・快適な中核都市圏づくり

- ・保健・医療・福祉などの高次都市機能の充実など中核都市圏づくりの推進
- ・交通体系の整備や那珂川，涸沼川などの改修促進，桜川の水質浄化など安心・快適な生活環境の整備促進

■ 自然や歴史，芸術，文化を活かした観光交流空間の形成

- ・水戸，笠間，大洗などの歴史・文化や海・川などの自然を活かした観光レクリエーション地域の形成
- ・北関東自動車道，東関東自動車道水戸線，茨城港大洗港区や茨城空港など広域交通ネットワークを活かした北関東3県連携による広域観光・国際観光の推進
- ・近世の教育資産としての世界遺産登録による観光交流の推進

■ 広域交通ネットワークを活かした物流・産業拠点の形成と地域特性を生かした産業の活性化

- ・北関東自動車道，茨城港常陸那珂港区・大洗港区や茨城空港などの広域交通ネットワークを活かした北関東の発展を先導する物流・産業拠点の形成
- ・農業や窯業，石材業などの地場産業の振興

(4) 鹿行ゾーン

■ 首都圏の食を支える食料供給基地の形成

- ・消費者ニーズに応える新鮮・安心な農産物の安定供給とブランド化の推進
- ・農商工等連携などによる特産品づくりの推進
- ・栽培漁業の推進と資源管理型漁業の充実

■ 競争力のある工業地帯の形成と生活環境の整備

- ・鹿島港の機能強化による鹿島臨海工業地帯における国際競争力のある一大産業拠点の形成
- ・鹿島港や東関東自動車道水戸線などの発展基盤整備による企業立地の促進，雇用の創出
- ・風力発電など地球環境に配慮した再生可能エネルギーの普及促進
- ・利根川や前川などの改修促進，上下水道の整備促進などによる快適な生活環境の整備

■ 自然環境とスポーツを活かした魅力ある観光ネットワークの形成

- ・生活排水の高度処理などによる霞ヶ浦・北浦の水質浄化の促進
- ・砂浜の浸食対策や海岸防災林の維持造成などによる海岸の保全
- ・水郷潮来，霞ヶ浦・北浦，鹿島灘などを活かした観光ネットワークの形成
- ・カシマサッカースタジアムや霞ヶ浦・北浦の水辺空間などを活かしたスポーツ交流の拡大
- ・茨城空港や成田空港の利用者を対象とした国際的な観光・交流の推進

(5) 県南ゾーン

- **科学技術の集積や広域交通ネットワークを活かした産業・研究拠点づくり**
 - ・つくばに集積する世界最先端の科学技術の集積を活かした国家プロジェクトの推進とベンチャー企業の育成及び研究機能の充実などによる新事業・新産業の創出
 - ・首都圏中央連絡自動車道やつくばエクスプレス等の広域交通ネットワークを活かした産業集積の促進
- **自然と都市的快適さが調和した住みよい魅力的な生活環境づくり**
 - ・つくばエクスプレス沿線地域における、自然と、都市機能、文化、教育、環境など、都市的快適さが調和した魅力あるまちづくりの推進
 - ・常磐線沿線地域における都市機能の再編による市街地の活性化や良好な生活環境の整備
 - ・首都圏中央連絡自動車道整備や主要道路のバイパス化などの交通基盤や生活排水等の汚濁負荷削減など、生活環境基盤の整備
- **自然環境を活かした多様な観光・交流の拡大**
 - ・市民、研究者、企業、行政のパートナーシップによる霞ヶ浦の水質浄化の促進
 - ・筑波山や霞ヶ浦を中心に、観光・体験農園、歴史的資源、スポーツなどを活かした多様な観光ネットワーク・交流空間の形成
- **豊富で多彩な資源の活用による農業等の振興**
 - ・大区画圃場整備などの生産基盤整備による安定的な稲作経営の推進
 - ・レンコンやわかさぎなど主要農水産物のブランド確立

(6) 県西ゾーン

- **日本を代表する大規模園芸産地づくり**
 - ・消費者ニーズ等に対応した高品質な青果物の産地育成による安定供給支援
 - ・地域特性を活かした農業等の振興と農産物ブランドの確立
- **新たな産業拠点づくりと地域産業の振興**
 - ・北関東自動車道や首都圏中央連絡自動車道、筑西幹線道路等の広域交通ネットワークを活かした流通・業務拠点の形成
 - ・新規立地企業との連携による地元企業の開発力向上など、地域産業活性化の推進
 - ・結城紬、石材加工など伝統工芸品の後継者育成や新商品開発支援などによる地場産業の振興
- **快適で安心して暮らせる良好な生活環境づくり**
 - ・東京圏との近接性を活かした鉄道沿線地域等における市街地整備の促進
 - ・広域的な幹線道路など生活環境基盤の整備
 - ・医師確保や急性期医療の充実などによる地域医療体制の整備
- **歴史、文化や豊かな自然環境を活用した地域づくり**
 - ・歴史的街並みや映画・テレビのロケ地など地域資源を活用した観光地づくりの推進
 - ・ミュージアムパーク自然博物館や小貝川、鬼怒川の水辺空間など、自然環境を活用した交流空間の形成